

特別顧問・特別参与が従事した職務の遂行に係る情報（事後公表）

【担当課：政策企画室広報担当】

議 題	大阪市の広報について（改善に向けた意見聴取）
日 時	令和元年10月7日（月曜）13時30分～15時30分
場 所	大阪市役所本庁舎5階秘書担当会議室
出 席 者	（特別顧問・特別参与）： 清水特別参与 山本特別参与 （職員等）： 政策企画室（市民情報部長・広報担当課長 外4名） 副首都推進局（戦略調整担当課長代理 外2名）
論 点	・大阪市の各種広報媒体及び広報手法について
主 な 意 見	（大都市制度周知広報） ・同系色でまとまりを表現したり、色の濃淡や明暗などを工夫するとよい。 ・問いと答えのように対応させたい言葉は、文字の色を対応させるとよりわかりやすくなる。 ・説明部分が散漫な印象を受ける場合は、行間を詰めて文章の上下に余白を作ることで、まとまって見え、読みやすくなる。 ・使用する色、あるいは色の組み合わせによって強弱、硬さや軟らかさなど変わってくる。読み手にどのような印象を持ってもらいたいかを考えて色を選択、配色するとよい。 （企画広報事業） ・単発の事業に終わるのではなく、複数年にわたって戦略に位置付けてやる事業の仕組みも必要。 ・今、情報が届いていた方が良い人に情報が届いていないということを市として把握できているか、情報が伝わればどんな良いことがあるか、という観点の見極めが必要。 ・市民と行政の距離が遠いのでそれを近づけるため、共感してもらえようなコミュニケーションデザインを事業者からプロポーザルで提案してもらおうと良い。
結 論	・ 本日の助言を踏まえ、改善に向け検討を進める。
説明等資料	
備 考	
関係所属 （ 部 課 ）	政策企画室市民情報部広報担当 副首都推進局戦略調整担当